

日本テコンドー協会（J T A）

文武両道志向の青年に育てる教育武道＝日本跆拳道 少年少女部（小学生時入門）篇

2023年3月25日
日本テコンドー協会
会長 河 明生

我が子が「立派な大人に成長し、幸せになってほしい！」
親ならば、誰でも願う理想です。この理想にそった伝統的な考えが文武両道です。

具体的には、

文とは、学力の向上及び社会常識の涵養です。

武とは、強い精神を涵養し、健康な肉体に鍛えることです。

勉強だけではいけないし、スポーツ・武道だけでもいけないということです。

食べ物同様、バランスよく、幼い頃から脳と肉体を鍛えるということです。

子供をサラブレッドだと仮定すると親は調教師です。

生み、住む場所、食事、衣服を与え、病気に備える等々、大人に育てるまでは毎日が人間修行です。
しかし、ジョッキーにはなれません。

手綱を裁き鍛えるのは「ジョッキー」であり、それに相当するのが「先生」と呼ばれる他人です。

私・河及びJ T Aクラブ長は、上記のジョッキーになりたいと考えています。

毎年、生まれるサラブレッドの中、中央競馬を走り、引退後も余生を送れるのは極めて少数です。

名ジョッキーとの出会いがサラブレッドの運命を左右するのです。

宿命は変えられませんが、運命は変えられます。

保護者は、自分の思春期、親に反発した時期を思い出すべきです。

口うるさい親が望む方向とは、真逆の方向に行くのが子供であり、それが若さというものです。

たとえば、親が勉強しろ、勉強しろと、怒鳴る家庭の子供が一流大学に合格する事例を知りません。

合格する子供は、親に言われなくとも自主的に勉強します。

たとえば、我が息子に対し、3歳から稽古中、「文武両道をめざせ！」と薫陶したことはありますが、私や妻は、ただの一度も「勉強しろ」と言ったことがありません。

ですが京都大学工学部を非進学校から現役で受かっています。

日本テコンドー協会（以下、J T A）が普及する武道は、

七大精神を掲げる日本発祥の新武道・日本跆拳道（ニホンテコンドー）です。

七大精神は、国家にたとえるならば憲法に相当します。

J T Aという武道組織が、いかなる理念と理想を掲げて、門人・会員の幸福実現に貢献するのかを主張しているのです。

七大精神には「文武両道を目指すこと」

が明記されています。

日本には大小様々な武道団体がありますが、文武両道を団体の目標に掲げる団体は極めて少数です。約20年前、日本テコンドー協会創立時には、少年少女部会員は少数でした（理由は下段注1）少年少女部が増加は、職場や学校の土曜日休みの定着以降です。

大学受験は個人競技です。

自分自身に学力試験という才能があり、努力した分だけ結果がでる個人競技なのです。

大学受験は、野球やサッカーのような球技＝団体競技ではありません。

また、チーム内のうまい選手が助けてくれることもありません。

つまり大学受験は個人競技である武道と同じと言えます。

幼い頃から、大会、審査、基礎理論講義、懇親会等での薫陶、そして日々の道場稽古において文武両道志向を叩き込まれてきた教育効果が、学力試験において現れてきました。その成果の一部は次のとおりです。

日本テコンドー協会少年少女部出身者 大学及び高等専修学校 合格実績

氏名	所属（TCテコンドークラブ略）	段位	入門時年齢	合格大学	
河 明宗	彦根TC	初段	3歳 2016年、	京都大学工学部情報学科	現役合格
菅原風太	東京江東TC	初段	6歳 2014年、	慶応義塾大学商学部	合格
渡辺直樹	東京江東TC	初段	6歳 2015年、	慶応義塾大学	合格
野原颯汰	長崎佐世保TC	初段	7歳 2017年、	早稲田大学理工学部	現役合格
伊藤岳陽	愛知大府TC	二段	8歳 2017年、	国立愛知教育大学	現役合格
福島宏青	福岡筑紫野TC、	初段	6歳 2019年、	国立久留米高専	現役合格
河 明宗	初段 京都大学大学院工学研究科（人口知能研究）		修士課程 2020年、		現役合格
富樫勇斗	品川浜川TC、	初段	6歳 2020年、	青山学院大学教育人間科学部	現役合格
福島良菜	福岡筑紫野TC、	二段	6歳 2020年、	国立熊本大学工学部	現役合格
斎藤未有	福岡筑紫野TC	初段	8歳 2020年、	国立佐賀大学経済学部	現役合格

長浜聖英	長崎佐世保TC	初段	6歳	2021年、	国立埼玉大学工学部	合格
三根輝琉	長崎佐世保TC	初段	9歳	2021年、	北九州市立大学経済学部	現役合格
久保田孝平	佐賀小城TC	初段	7歳	2021年、	国立久留米高専制御情報工学科	現役合格
高橋英秀	川崎TC	初段	6歳	2022年、	慶応義塾大学付属高校	合格
新田純士	鹿児島曾於TC	1級	10歳	2022年、	国立大分大学理工学部	現役合格
森 慎治	福岡筑紫野TC	初段	5歳	2022年、	日本大学芸術学部音楽学科	現役合格
守田真菜	福岡イオン筑紫野TC	初段	7歳	2022年、	国立九州工業大学情報学部	現役合格
河 貴明	彦根TC	初段	3歳	2023年、	国立京都大学工学部建築学科	合格

この成果は、偶然ではありません。

学力試験に秀でていることも、一つの才能だとみなした場合、

少年少女部の門人が、幼い頃から文武両道を志向するようになり、元々、持っていた才能を開花させたと考えています。

周知の通り、受験はつらく、厳しく、苦しく、そして不安と恐怖がつきまとうものです。

大学受験時、僅か18歳なので、誰でも、大変な試練だと思います。

この試練に打ち勝つためには、受験本番を平常心で迎える必要があります。

平常心がないと受験に失敗するからです。

あがったり、熱がでたり、下痢をしたり、風を引いたり等々、普段の実力を発揮できないのです。

学力だけを伸ばす環境にいる受験生が本番に弱い原因と考えられます。

JTAで試合や審査等を経験し、毎年11月の最終土曜日の夜、後楽園ホールで開催される

全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会に出場、入賞することで、度胸が涵養されます。

格闘技の殿堂・後楽園ホールのリングに少年少女がのぼって試合をすることをイメージしてみてください。

この緊張を超えるのは、少年少女部門人に平常心があればこそ。

上記の少年少女部出身者は、

全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場はもとより入賞・優勝を経験しています。

つまり文武両道でした。

彼らの多くは、高三であっても休会せず、週1回程度の稽古にも参加し、幼い頃から涵養してきた生活

のリズムを保ってきました。

集中力は持続しません。

長時間、予備校の講義を聴き、机に向かっても、集中力はもちません。

本番が近づけば緊張や不安で睡眠障害が起こる場合もあります。

だからこそ週1回、幼い頃から学んできた日本跆拳道で汗を流し、気合いをいれて蹴り、黙想すれば、確実に心が落ち着きます。睡眠もとれることが疑い無しです。

その上で受験本番に望む方が良い結果が得られると確信しています。

むろん文武両道は、理想であり、難しいかも知れません。

すべての少年少女部が一流大学に受かっているわけでもありません。

しかし、幼い頃から、文武両道を強調されて育った少年少女は、文武両道に近づく可能性が高まります。

人間が他の生物よりも優越しているのは、理想をもつことであることを鑑みると、

幼い頃から理想を強調されながら育つことは、

立派な大人になれる思想の素地を身につけることにつながる と考えます。

また幼い頃から正しい徳目を叩き込まれた少年少女が大人になって道をあやまる可能性は低くなります。

なぜなら、正しい人生観を涵養するからです。

いくら学歴が高くとも、社会常識が欠如しては話しになりません（下段注2参照）。

日本テコンドー協会加盟クラブでは、少年少女部の会員に対し、

普段の稽古指導や昇級昇段審査での必修課題＝日本跆拳道七大精神に基づく作文提出等により社会性の涵養を目指しています。

幼い頃から叩き込まれた正義の徳目は、正しい人格形成に大きな影響を与える と考えています。

注1 日本テコンドー協会の方針としてクラブ長は必ず定職をもつことを定めているからです。

そのため少年少女が集まりやすい午後5時から6時前後の指導ができなかったからです。

この問題が解決されたのは、職場や学校の土曜日が休みになったためです。

定職をもつことを定めたのは、将来、起こりうる組織内部の紛争を避けるためです。

空手や合気道、他流のテコンドー組織が絶えず分裂・分派しているのは、

道場主の殆どが定職をもたない専任で、他に収入がないことに本質的な原因があるからです。

注2 高学歴者による社会常識のない発言事例

①滋賀4区自民党衆議議員（当時、2期目）・武藤貴也（36歳）は、東京外国語大学卒業後、京都大学大学院修了。

2015年7月31日、武藤は安倍政権が強行採決したいいわゆる平和安全法に反対、抗議するため国会を取り囲んだ大学生らツイッターで次のように批判した。

「戦争に行きたくないのは、自分中心で極端な利己的考えだ」

野党はもとより自民党内からも批判を受けた。たとえば、幹事長・谷垣禎一（当時）は「自民党を支える人々の中にも、戦争はこりごりだ、という感覚があることを謙虚に学ぶ必要がある」と批判している。後、「週刊文春」等に金銭トラブルや同性未成年者買春疑惑を報道されたが議員辞職しなかった。2017年9月の衆議院解散に伴い政党の公認を得られないため出馬できなかったが、2019年4月、滋賀県議会議員選挙に出馬し落選。

②大阪13区維新の党衆議議員（3期目）・丸山穂高（35歳）は、東京大学経済学部卒業後、経済産業省入省。2015年12月、JR蒲田駅周辺で飲酒した後、ケンカし、相手を嘔むが示談和解。2019年5月11日、北方領土を訪問した際、飲酒した後、

「戦争でこの島を取り戻すのは賛成ですか、反対ですか」、

ロシアと「戦争しないとどうしようもありませんか」等の戦争容認発言及び買春発言で社会問題化。維新の党から除名された後、与野党共同で国会初の議員辞職を促す糾弾決議案が前科一致で可決したが、現在も議員辞職を拒否している。